

令和7年9月16日発行

ちば水土里支援会報

NO. 35

特定非営利活動法人

ちば水土里支援パートナー



第31回「農村環境写真コンテスト」
ちば水土里支援パートナー賞受賞作品「春舞台」

—目次—

第16回通常総会開催される	1
理事長挨拶	2
NPO法人活動実績	2
第31回農村環境写真コンテスト	3
【寄稿】千葉県を退職して	4
NTCコンサルタンツ(株)千葉営業所 本宮 誠	
新会員の紹介	6

第16回通常総会開催される

第16回通常総会が、令和7年6月13日午後3時から千葉市中央区の鮎割煮みどり3階会議室で、会員総数130会員のところ、出席111会員（本人出席30会員、書面議決出席81会員、委任状提出者無し）で開催されました。

まず、神崎事務局員の司会で開会し、会員の出席状況の報告があった後綱副理事長の開会宣言、杉野理事長の挨拶がありました。また、議長には司会者が出席者に諮り、高橋速雄会員が満場一致で選任されました。議事に先立ち議長より議事録署名人2名を選任したい旨の発言があり、中嶋浩之及び本宮誠の両会員を指名しました。

続いて議事に入り

議案第1号 令和6年度事業報告並びに決算について

議案第2号 令和7年度事業計画について

議案第3号 令和7年度の会費及び納入方法について

議案第4号 令和7年度予算について

議案第5号 令和7年度一時借入金限度額並びに借入れ方法について

議案第6号 令和7年度会費等の積立金並びに余裕金の預入先についての6議案が上程されました。



通常総会開催状況

第1号議案から第6号議案までは、事務局からの議案説明のあと質疑応答があり6議案とも賛成多数で可決されました。

以上で本会議に付議された議案は全て終了した旨の議長発言があった後、綱副会長が閉会を宣言し午後4時に総会を終了しました。

杉野理事長挨拶

令和7年度 第16回通常総会にご出席をいただき、感謝申し上げます。

NPO 水土里支援パートナーも16年目を迎え、会員の高齢化が進み、安定した活動に支障をきたす事のないよう、今が頑張りどころかと思っておりますので、会員の皆様のご協力をお願いします。

さて、国では食料の安全保障の観点から、農業・農村基本法、同基本計画を改正し、関連した土地改良法の改正へと関連法制度の改正を行いました。

食料の安定確保のための農業生産基盤整備を「一丁目一番地」と位置づけ、今後5年間で集中的に進めていくこととしたところです。

このような中で、コメの価格が高騰し、消費者米価が5kgで4,000円以上となり、生産者側からは、消費者の米離れを心配する声も聞こえてきましたが、これで、後継者に農業を続けてもらうことができる、農業経営の安定化が図られるといった声も多く聞こえました。

早く令和の米騒動が落ち着くことを願うところです。

本日の総会では、「令和6年度の事業報告及び決算」、「令和7年度の事業計画」など6議案について審議をお願いしますので、慎重なご審議をお願いいたします。



NPO法人活動実績

(令和7年年4月1日～令和7年8月31日)

月 日	活 動 内 容
4月 1日(火)	千葉県耕友会事務処理支援業務受託契約
〃	千葉土地改良協会千葉支部事務支援業務受託契約
〃	安房中央ダム定期点検業務受託契約
〃	利根川流域調節池連絡会事務支援業務受託契約
4月18日(金)	安房中央ダム堤体観測(南房総市)
4月22日(火)	千葉土地改良協会千葉支部第1回理事会(千葉市)
5月16日(金)	千葉土地改良協会役員会(千葉・市原両支部)(市原市)
5月16日(金)	令和6年度水土里支援パートナー事業監査(土地改良会館)
〃	令和7年度水土里支援パートナー第1回理事会(土地改良会館)
5月26日(月)	千葉土地改良協会千葉支部通常総会(千葉市)

6月13日（金）	令和6年度水土里支援パートナー第16回通常総会（土地改良会館）
6月19日（木）	安房中央ダム堤体観測（南房総市）
6月21日（土）	千葉県耕友会総会開催（千葉市）
7月1日（火）	第31回「農村環境写真コンテスト」審査会（土地改良会館）
7月25日（金）	利根川流域調節池連絡会第1回連絡会（柏市）
8月12日（火）	第31回「農村環境写真コンテスト」表彰式（きぼーる）
8月20日（水）	安房中央ダム堤体観測（南房総市）

第31回「農村環境写真コンテスト」

「農村環境写真コンテスト」は、農業農村整備事業推進のため、千葉県内の農村の緑豊かな自然景観や農村生活の様子など、「誰もが住んでみたいと思う農村環境」をテーマに、千葉県土地改良事業団体連合会が主催者となり毎年実施しているもので本年度31回目となります。

当法人としては、このコンテストの開催主旨に賛同し、平成23年度から「ちば水土里支援パートナー賞」を設け、当写真コンテストを側面から応援しているところです。本年度の応募数は84作品あり、審査会は6月1日（火）に、情報誌「水土里ネットちば」編集委員（県耕地課長、農地・農村振興課長、各農業事務所、県土連副会長）、当NPO法人杉野理事長等20名の審査委員で行われました。

審査の結果、「ちば水土里支援パートナー賞」は入岡一郎さんの「春舞台」が選ばれ（表紙写真）、同時に「千葉県知事賞」等の各賞が決定しました。

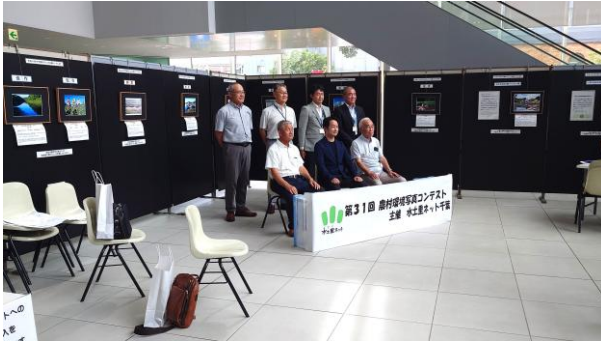
表彰式は8月12日（火）に千葉市の「きぼーるアトリウム」において行われ、8月12日から4日間、入選・佳作などの応募作品が展示されました。



千葉県知事賞



展示の様子



表彰式



種清特別審査員講評

寄稿 千葉県を退職して

NTCコンサルタンツ(株)千葉営業所 本宮 誠

令和7年3月末、印旛農業事務所長を最後に、千葉県職員を退職しました。現在、県では定年延長の経過措置期間で私の年代の定年は62歳ですが、役付き定年の60歳で退職をしました。

昭和63年4月に千葉県職員として採用され、農業土木職員として37年の間に県庁をはじめ、6つの出先機関に勤務しました。その間、各所属で感じたこと等を簡単に振り返りたいと思います。

最初は耕地第二課団体営係に配属され、補助金事務や県予算等のいわゆる経理全般を担当しました。今では県庁の各ラインで農業土木職員が経理事務を担当していますが、結果的に私とその始まりとなりました。また年度末には補助金検査で各地域に出向き地域の特徴を知ることができました。その中で中山間地域の土地改良区の理事長の「ほ場整備をしたことで将来が見通せるようになった」との感謝の言葉が今でも強く印象に残っています。

令和元年度から4年間、佐原土地改良事務所に配属となり、ほ場整備事業を担当しました。新規立ち上げから、区画整理、パイプライン、暗渠排水等のほ場整備全般を実施することで、地元地権者や関係機関との調整等を経験することができ、私の農業土木職員としての基礎づくりとなった4年間でありました。

その後の出先機関では、主にかんがい排水事業を担当することが多く、北総農業開発事務所では根木名川地区の用水と排水事業の両方を担当しています。空港関連の更新事業であり、多くの難題と調整事項そして事業期間の制約がある中で、主任を筆頭に複数人のチームで事業を進める経験をすることができました。

目標に向かってチーム一丸となり取り組んだこの経験は、その後の県職員人生の中で大きく役立っています。

本庁では、水政課、市町村課、生産販売振興課等のいわゆる他部局の勤務を多く経験しました。どの課も少し土地改良事業から離れ、県職員として視野を広げることが出来たと思っています。

水政課では水資源行政の中で、県内外の利水と治水の関係者や上流ダムの関係者との協議・調整や交流事業等、貴重な経験をする事ができ、この時の仕事を通じて知り合った土木、県水道、県工水の職員とはその後も交流を続けているところでもあります。

市町村課では、市町村の平成の大合併が進められる中で、市町村振興業務に従事しました。市町村課は全くの事務屋さんの社会であり、総務省からの出向者や市町村からの研修生も数多くおり色々な方と知り合うことで人脈が広がり、その後仕事をする上で大きく役立ちました。

さらに県内市町村の特徴や課題、将来の方向性等を直接市町村職員と話し合うことが出来たのはとても貴重な経験となりました。また、国政選挙や県知事、県議会選挙の選挙事務を、県選挙管理委員会事務局員として行い、民主主義の根底である選挙の大変さを経験できました。個人的には選挙事務は絶対ミスが許されない事務であり緊張はしたが、楽しかった思い出が残っています。

今般、米問題が大きく取り上げられていますが、平成21年度から3年間生産販売振興課で米の生産調整を担当しており、この3年間は自民党から民主党へと政権交代があり、生産調整の仕組みも大きく変わり、農業者や農業関係団体そしてマスコミも大騒ぎでありました。そのため制度の周知、推進を図る必要があることから、JA中央会等の農業団体と連携し室員全員で地域に出向き、休日や昼夜を問わず説明会を実施したことが思い出される。

最後に耕地課への在籍は3年間で、事業計画室の主任、基盤整備室長そして耕地課長を務め、この3年間は課・室員に助けられ職務を果たすことができました。特に耕地課長時には、室長はじめ両副課長、国営主幹、各主任には、多くのことを相談し課題解決を図ることが出来たと思っています。

改めて37年間の現役時代を振り返ると、土地改良以外も含め多様な業務に携わってきました。業務の遂行に当たっては、県職員、市町村や改良区等の関係者、そして地域の農業者と多くの方々に支えられ仕事をする事が出来たことに感謝の気持ちでいっぱいです。また、健康面では特に気を付けていたことはないですが、病気・怪我一つなく無事に過ごすことが出来何よりでありました。

令和7年4月からは、NTCコンサルタンツ(株)千葉営業所技術顧問として再就職をしました。今後は、先輩方の指導・助言を仰ぎながら、県職員時代に培った経験を活かし、土地改良事業を通して農村地域の発展に少しでも役に立てればと思っています。

仕事をするに当たっては健康でいることが大事であり、県職員時代の若い頃はゴルフや草野球などのスポーツを積極的に行っていたが今は何もやっておりません。健康

を維持するため再就職を機に、なかなか上達しなかったゴルフに再チャレンジしようかと考えているところです。

NPOの関係者の皆様には、現役時代に大変お世話になりました。再就職した後も引き続きよろしく願いいたします。

新会員の紹介

当法人に新たな会員が入会しましたので紹介いたします。

- ・個人会員 中島浩之（内外エンジニアリング(株)）
本宮 誠（NTCコンサルタンツ(株)）



編集後記

温暖化の影響を受けて9月に入っても高温で熱中症の危険が続いており、NPOへの出勤も西千葉からの徒歩は辛くてバス利用の回数が増えています。

会員の高齢化も進んでおり熱中症に気を付けて、小まめな水分補給を行いましょう！！

写真を少し取り入れた誌面作りを考えており、農業農村整備、地域や季節感のある写真などの提供をお願いします。(atusi 記)

ちば水土里支援会報 第35号 (発行日 令和7年9月16日)

発行：特定非営利活動法人ちば水土里支援パートナー(発行責任者：杉野宏)

会員：正会員 108名・19団体 賛助会員 16団体

事務局：〒261-0002 千葉市美浜区新港249番地8 千葉県土地改良会館別館

Tel 043-241-1755 <http://npochiba.boj.jp/npo>

銀行口座番号：千葉銀行本店営業部 3908901

特定非営利活動法人ちば水土里支援パートナー 理事長 杉野 宏